

山行報告書

報告書作成

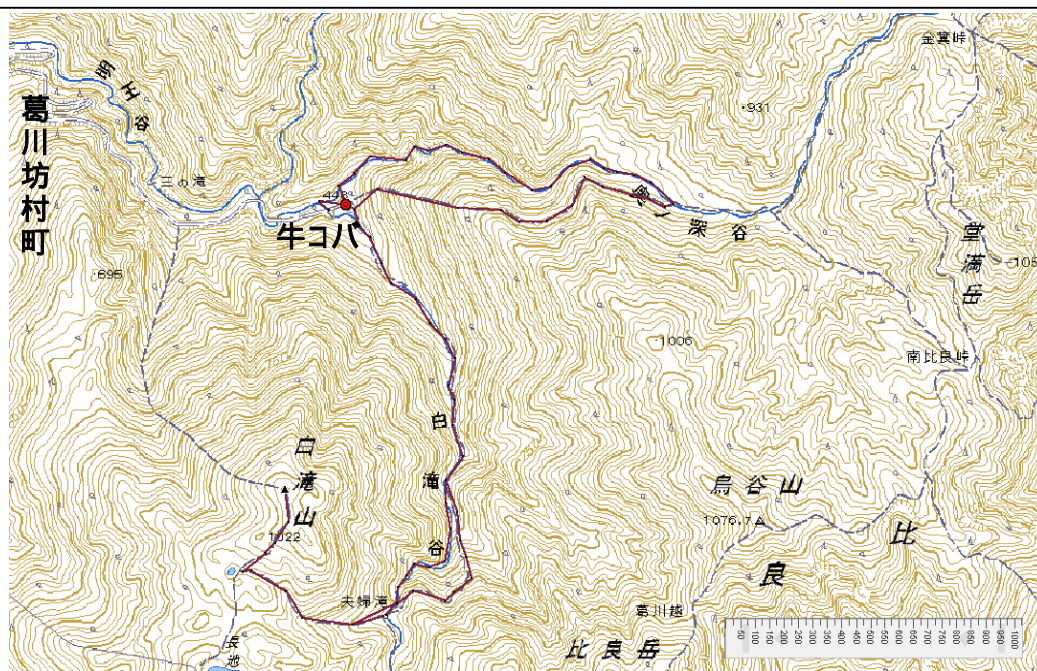
2007年7月24日

山名 [山域]	白滝谷・奥ノ深谷(比良山系)	目的と方法	沢登りを楽しむ
登山期間	'07年7月21日(土)～22日(日)	山行形態	1日1沢日帰り
参加人数	5人		

行動記録

7/20(金)刈谷総合運動公園(2025)==豊明IC(2030)==亀山IC(2130)=国道1号=琵琶湖大橋道の駅(2330)TS1
 7/21(土)TS1(700)==坊村林道終点牛コバPKG(800,820)---白滝谷入渓(2つ目木橋)(845)---1本(935)---2本(1040)---夫婦滝(1110)---滝見不動明王お堂(1155,1220)---オトワ池(1245)--白滝山頂1022m(1305,1310)---不動明王(1335,1345)---牛コバP(1510,1525)===朽木温泉「てんくうの湯」600円(1600,1700)===朽木新本陣道の駅TS2(1710)---食堂「鯖街道」で岩魚お造り定食(1730,1830)--TS2(消灯2000)
 7/22(日)TS2(600)==坊村林道終点牛コバPKG(640,700)---橋より奥ノ深谷入渓(705)--大岩(830)高巻--再入渓(1030)--1本(1035,1045)--ゴルジュ(1130)---沢終了登山道(1300,1330)---牛コバP(1445,1515)===温泉「きららの湯」600円(1700,1800)==亀山IC==豊明IC==刈谷総合運動公園(2045)

概念図



日誌

7/20(金) 刈谷運動公園20時集合本降り中止か行くかみんなて話し合う、私は6割中止、Y氏はぜひ行きたい、N氏は5割中止、リーダーのK氏はY氏の熱意で決行と決めた。本降りの中、ドライブと宴会を楽しみにのんびり車を進める。琵琶湖大橋(200円)を渡るとすぐの道の駅を本日のお宿とする。翌朝さざなみの音で目覚めると霧の湖畔で素晴らしいロケーションである、釣り人が獲物を狙って静かにミチ糸を投げる。

7/21(土) 曇り時々雨、本日は増水を予想して比較的簡単な白滝谷に向かう、坊村でゲート抜けて、落石をみんなてどけて何とか通過。牛コバで準備していると雨が降り出す、カッパを着て出発。はじめは登山道を20分程歩き、傾いた2本目の木橋から入渓するが水量が多いと感じる。難なく一時間毎に2本休憩をとり進むと、みごとな2条になった夫婦滝に出た、ごう音とマイナスイオンをたっぷり浴びる。これも左岸を高巻くとヒョッコリと不動明王お堂前の登山道に出る、お堂で3本目をとり、白滝山を踏むため、空荷で出発、途中の音羽池(直径50m程)を囲む樹林に淡雪状のモリアオガエルの卵が無数に垂れ下がり、孵れば池に落ちる様になっている。池を覗くとおたまじゃくしと音羽イモリが、天敵がないのか、繁殖している。下山は沢に入らず登山道で下る。朽木温泉でさっぱりし、朽木新本陣道の駅に車を置き、徒歩1分で鯖街道食堂の岩魚お造り定食(骨天ぷら付き)1050円と生中で乾杯して至福のひとつにした。昨年私がカメラをわすれ着払いで宅配してくれた事とK氏の溪流たびを鮎釣師の主人が貸して下さった事にお礼言うと覚えていてくれました。

7/22(日) 曇り時々晴れ、今日は奥ノ深谷へ昨日と同じ牛コバにPKGし、橋の横から入渓した、大岩下、4段40mが水量が多く、深いし寒いので飛び込めず高巻く、斜度がきつく、安全のためザイル確保で確実にトラバスの、大岩を越え再び沢へ入ると京都18人パーティに会い挨拶する、沢登講習会とのこと、途中なんでもないところで1人が滑落し、口を岩に当て、歯が3本折れたそうで、心配でした。我がパーティもK氏がドボンしたが大事に至らず幸いでした。K氏の的確な「お助けひも」にすくわれ、無事登山道に到着、そこで昼食、着替え、靴はき替え後、登山道で下山した。牛コバ林道に出ると、18人パーティと会い怪我の様子を聞く、坊村に救急車を呼んだそうで、私のブラドで人が搬送し、駐在さんと救急車にお願いする。

いろんなことがありましたが、気を引き締めて、安全で楽しい沢を続けます。